

第3回

いいいたて村民ふれ愛号

越後と出羽の国を舞台に住民同士ふれ愛交流



▲童心にかえって凧あげを楽しむ参加者
(しろね大凧と歴史の館にて)



▲車中は笑顔がいっぱい



◀車内では村長が
村のうごきについて説明

今年「第3回いいいたて村民ふれ愛号」は10月29、30日の日程で行われ、住民120人と村議員、村長はじめ職員ら合わせて130人が研修の旅を通して交流を深めました。

今年「第3回いいいたて村民ふれ愛号」の研修先は新潟、山形県方面。29日、公民館前で出発式を行った一行は、3台のバスに分乗し、一路最初の目的地である新潟県へと向かいました。

道中、バスの中では自己紹介などが行われたほか、菅野村長から合併問題などの村が抱える課題について話され、参加者らは身近に聞く村の現状に真剣に耳を傾け、村長に質問をしていました。

研修初日は、新潟県白根市の「しろね大凧と歴史の館」や新潟市美術館、おしゃぎり会館及び旧若

林家住宅を見学し、宿泊先の瀬波温泉へ。

夕食時に行われた懇親会で参加者らは、席を移動しながらお酌をし合って大いに交流を深めました。

2日目は山形県の致道博物館を見学し帰路に。帰りのバスの中では2日間旅を共にした参加者同士が、残りの時間を惜しむかのように会話をはずませていました。



▲旧若林家住宅、昔の良さが残ります

1号車



2号車



感想



菅野初雄
・紀子さん
(比叡)

(紀子さん)
私はふれ愛号参加は3回目。前回楽しかったことと、今回の行き先に興味があつて参加しました。相変わらずバスの中は賑やかで、あまり面識のない人でも同じ村民同士ということで、知ってる人みたいに楽しめました。車内での村長さんの話も、今年の冷害や合併について聞け、村のうごきについて知るいい機会になりました。

(初男さん)
私は区長さんにお誘いを受けでの参加でしたが、夫婦で旅行というのもたまにはいいんじゃないかと思います。妻は一緒についていかれてちょっと困ったかもしれませんが(笑)

(紀子さん)
ふれ愛号は今回で終わりとのことですが、もし、4回目があれば参加させていただこうかなと思っています(笑)。

3号車

